

公開シンポジウム

災害時におけるアスベスト問題と健康被害 ～東日本大震災を中心に～

アスベストは人体に有害であることから現在はずでに使用禁止となっていますが、過去に使用されたアスベストは身近にたくさん存在しています。アスベストは建築物や船舶に多く使用されていますが、解体作業時や地震等の災害による倒壊によって粉じん化して飛散する可能性が高く、1995年の阪神・淡路大震災でもアスベストによる大気汚染問題が起きました。2011年3月11日の東日本大震災においても大量の倒壊建築物や被災船舶、津波による瓦礫が発生し、被災地におけるアスベスト飛散・ばく露のリスクが非常に高い状況にあります。本シンポジウムでは、災害時におけるアスベスト問題、特に東日本大震災におけるアスベスト被害の予防等の対策について検討を行います。ご興味・ご関心のある方は奮ってご参加ください。

実施概要

主催：立命館アスベスト研究プロジェクト

協賛：アスベスト対策宮城センター、宮城アスベスト患者・家族の会

開催日：2012年2月25日（土） 13:00～17:30

会場：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

※参加費無料、事前登録不要

プログラム予定

基調講演1 「震災アスベスト問題にどう対処するか」

石原一彦（立命館大学政策科学部）

基調講演2 「東日本大震災によるアスベスト・粉じん健康被害問題」

広瀬俊雄（仙台錦町診療所・産業医学センター）

特別講演 「韓国での船舶修理・解撤におけるアスベスト健康被害リスク」

カン・トンムク（釜山大学、韓国アスベスト関連疾患研究センター）

パネルディスカッション 「災害時におけるアスベスト問題の発生とその対策」

パネラー：

・外山尚紀（東京労働安全衛生センター）

・南慎二郎（立命館グローバルイノベーション研究機構）

他（調整中）

コーディネーター：森 裕之（立命館大学政策科学部）

総括コメント

宮本憲一（大阪市立大学・滋賀大学名誉教授、立命館大学客員教授）

会場案内

仙台市戦災復興記念館

〒980-0804

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

TEL.022-263-6931

FAX.022-262-5465



-交通案内-

- タクシーでおいでの方

仙台駅西口から約5分。(初乗り運賃)

- 地下鉄でおいでの方

仙台駅から泉中央行きで1分、広瀬通駅で下車。西4番出口から徒歩10分。

- バスでおいでの方

仙台市営バス、仙台駅西口バスプールのりばから約7分、東北公済病院・戦災復興記念館前で下車し、徒歩2分。

10番のりば 茂庭台、折立/西花苑行 (西道路経由)

15番のりば 全路線

16番のりば 川内営業所行 (広瀬通経由)

- 徒歩でおいでの方

仙台駅西口から約25分。

<担当>

立命館大学 政策科学部 教授 石原 一彦

<問合せ先>

立命館大学 R-GIRO ポストドクトラルフェロー 南 慎二郎

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1

Tel: 075-466-3682 FAX: 075-465-7853

Email: nannkuro@fc.ritsumei.ac.jp